

第16回ねごろ医用実学研究会講演会
臨床工学技士の職域の拡大を考えるⅡ
『臨床工学技士の教育と研究』

日時：令和8年3月7日（土）開始13:30
場所：近畿大学生物理工学部 アリーナ（和歌山キャンパス）
方式：オンサイト（現地）開催

アクセス <https://www.kindai.ac.jp/bost/access/>

※聴講無料



【招待講演Ⅰ】

北里大学医療衛生学部 准教授

日本血液浄化技術学会 副理事長・国際委員長

小久保 謙一

『大学や学会における研究活動の活性化と国際化
を目指した取り組み』

【招待講演Ⅱ】

神戸大学大学院医学研究科 医療創成工学専攻 副専攻長

医学部医療創成工学科 学科長・教授

大谷 亨

『臨床工学技士教育のアップデート：医療機器開発を担う
人材教育の実践』

【特別講演】

順天堂大学医療科学部 臨床工学科 特任教授

峰島 三千男

『臨床工学技士のはじまりと将来展望』

※聴講を希望される当学部以外の方は、お申し込みが必要です。

【対象者】 医療者・研究者・教職員・学生・高校生（保護者）※一般不可

【申込み方法】 下記アドレスまたは二次元バーコードにアクセスし、
必要事項を入力して下さい。

申し込み締切 令和8年3月1日（日）

申し込みアドレス：<https://forms.gle/d67iFj1pkqkTx5D69>



【事務局】 E-mail: negoro@waka.kindai.ac.jp

代表幹事：古蘭 勉

講演の要旨

『(仮)研究活動の活性化と国際化を目指した取り組み』

北里大学医療衛生学部 准教授

日本血液浄化技術学会 副理事長・国際委員長

小久保 謙一

北里大学では、学生・大学院生の皆さんと一緒に研究を実施し、結果を国際学会を含む様々な学会で発表してもらっています。また、学会では、企業や臨床工学技士の皆さんと一緒に研究活動や国際活動を活性化するための事業をしています。その中で、生涯目標をもってこの分野で仕事をしていくために必要と感じていることを皆さんと共有したいと思います。

『臨床工学技士教育のアップデート:医療機器開発を担う人材教育の実践』

神戸大学大学院医学研究科 医療創成工学専攻 副専攻長

医学部医療創成工学科 学科長・教授

大谷 亨

高度化する医療機器、AI・デジタルヘルスの普及、医療現場の複雑化に伴い、臨床工学技士には従来の「機器管理」だけではなく、「医療機器の創造・改善に関わる力」への期待が高まっている。本講演では、当科が取り組む「医学×工学×創造性×ビジネス」に基づく教育研究の実践例を紹介しながら、次世代の臨床工学技士に求められる能力像を再定義する。

『臨床工学技士のはじまりと将来展望』

順天堂大学医療科学部 臨床工学科 特任教授

峰島 三千男

演者は1983年早稲田大学より工学博士を授与された後、わが国にまだその名さえ知られていなかった「医工連携」の先駆けとしての使命を託され、東京女子医科大学第3外科助手の任に就いた。1987年臨床工学技士法公布から国家試験の運営まで深く係わり、また自らも有資格者として長年、臨床・研究・教育に携わっている。本講演では臨床工学技士の歴史を踏まえて技士が目指すべき姿を展望する。